学校番号	１０１

令和８年度　幼児教育科

教科	幼児教育	科目	(学) 子どものための音楽表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

楽器は、キーボード(ピアノ)・ギター・打楽器等を個々の進度別に学習します。
学期ごとに弾き歌い・歌唱・合奏の課題曲を設定し、授業態度・実技テスト・グループ発表等で総合的に評価します。

2　学習の到達目標

個々の演奏力向上及び他者と協力しながら行う音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、幅広い音楽的な知識と技能を生かして、生涯にわたり音楽や音楽文化と深く関わることのできる資質や能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽に関する基礎的な知識や理論を学ぶとともに、ソルフェージュ能力を養い、楽器（ピアノ・ギター等）演奏や歌唱の能力を高めて、幼児教育をするために必要な音楽的技能を身に付けるようにする。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かな音楽表現を創意工夫したり、音楽の良さや美しさを子どもに伝えることができるようにする。	主体的・協同的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	弾き歌い	ピアノ及びギターで 課題曲を弾き歌いする。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験 レポート
	合奏	弦楽器・管楽器・打楽器・鍵盤等を使って合奏する。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験 レポート
2	弾き歌い	ピアノで 課題曲を弾き歌いする。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験
	合奏	弦楽器・管楽器・打楽器・鍵盤等を使って合奏する。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験 レポート
3	合唱	課題曲を合唱する。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験
	合奏	弦楽器・管楽器・打楽器・鍵盤等を使って合奏する。	a:演奏の技能 b:演奏の創意工夫 c:演奏への取り組み方	実技試験	実技試験	実技試験 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度